

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 15 日作成)

|                              |  |                                  |
|------------------------------|--|----------------------------------|
| 小委員会名                        | 建築人間工学小委員会   | 主 査 名：渡 辺 秀 俊<br>就任年月：2008 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築計画本委員会(計画基礎運営委員会)  | 委員長名：布 野 修 司<br>主 査 名：大野隆造       |
| 設 置 期 間                      | 2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月  |                                  |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積・更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする。</li> <li>・2008 年度 小委員会の開催と建築人間工学の若手研究者の支援(6 回)<br/>建築人間工学研究会の開催(2 回)<br/>建築人間工学に関する基礎資料データの整備と利用促進</li> <li>・2009 年度 小委員会の開催と若手研究者による研究発表・交流(6 回)<br/>建築人間工学研究会の開催(2 回)<br/>建築人間工学に関する基礎資料の作成・公表</li> </ul> |                                  |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：有<br>渡辺秀俊(文化女子大学)、白石光昭(千葉工業大学)、佐野友紀(早稲田大学)、岡田明(大阪市立大学)、古賀紀江(前橋工科大学)、後藤義明(岡山理科大学)、齋藤芳徳(茨城大学)、嶋田拓(明野設備研究所)、武田雄二(愛知産業大学)、田中眞二(積水ハウス株式会社)、田中直人(摂南大学)、林田和人(早稲田大学)、増子順一(日本大学)、吉岡竜巳(愛知工業大学)、吉岡陽介(千葉大学)  |                                  |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | WG 名：建築人間工学基礎資料集作成 WG<br>目 的：建築人間工学の既存の知見をわかりやすく紹介する資料集の作成を行う。これらは、供給者、生活者、教育研究者のための冊子やデジタルデータとしてまとめる。   |                                  |
| 2008 年度予算                    | 195,000 円  | ホームページ公開の有無：なし<br>委員会 HP アドレス：なし |

| 項 目                            | 自己評価   |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数                         | 6 回(年度内計画を含む)  |
| 刊行物(シンポジウム資料等は除く)              |  |
| 講習会                            |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)  | 1. 第 66 回空間研究小委員会研究会(空間研究小委員会主催、建築人間工学小委員会・環境心理小委員会共催)「生理計測による空間評価研究の可能性」(2008.6.9 開催)、参加者数 61 名、(資料名：同名)<br>2. 第 51 回建築人間工学小委員会研究会「やりにくさ」の人間工学 - 住宅の防犯設計への応用 - (2009.1.29) 参加者数 25 名、(資料名：同名)   |
| 大会研究集会                         |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 小委員会の開催と建築人間工学の若手研究者の支援(6 回): 予定通り小委員会は 6 回開催した。若手研究者による 30 分間トークは 1 回実施した。【達成度 80%】<br>2. 建築人間工学研究会の開催(2 回): 共催 1 回、主催 1 回の合計 2 回の研究会を実施した。【達成度 75%】<br>3. 建築人間工学に関する基礎資料データの整備と利用促進: WG の活動により、資料集の目次案・執筆者案を作成し、彰国社からの出版物として建築計画委員会に刊行企画書を提出した。【達成度 100%】 |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 1. 小委員会 HP の早期開設<br>2. 若手研究者の支援  |

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。